

四半期報告書

(第33期第3四半期)

自 平成24年10月1日

至 平成24年12月31日

株式
会社 **フォーバル**

東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 2

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 3
- 2 経営上の重要な契約等 3
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 3

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 5
- (2) 新株予約権等の状況 5
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 5
- (4) ライツプランの内容 5
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 5
- (6) 大株主の状況 5
- (7) 議決権の状況 6

2 役員の状況 6

第4 経理の状況 7

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 8
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 10
 - 四半期連結損益計算書 10
 - 四半期連結包括利益計算書 11

2 その他 15

第二部 提出会社の保証会社等の情報 16

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月13日
【四半期会計期間】	第33期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	株式会社フォーバル
【英訳名】	FORVAL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 將典
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
【電話番号】	03（3498）1541(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区佐賀一丁目1番3号
【電話番号】	03（6826）8881
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第3四半期 連結累計期間	第33期 第3四半期 連結累計期間	第32期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高（百万円）	24,936	25,576	34,695
経常利益（百万円）	425	714	846
四半期（当期）純利益（百万円）	285	366	587
四半期包括利益又は包括利益 （百万円）	67	668	372
純資産額（百万円）	5,517	6,229	5,823
総資産額（百万円）	14,820	14,539	16,224
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	21.05	27.05	43.28
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	34.3	39.7	33.1

回次	第32期 第3四半期 連結会計期間	第33期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 （円）	3.61	10.99

- （注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要等が見込まれる一方で、欧州債務問題の長期化による欧州景気の低迷に加え米国景気の回復力も弱く、また、好調であった新興国の成長も減速する等、依然として輸出環境は厳しく不透明な状況が続いております。

このような環境のもと当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は以下のようになりました。

売上高は、フォーバルテレコムを中核としたビジネスグループの売上が一部事業を譲渡した影響もあり前年同期に比べ967百万円減少したものの、フォーバルを中核としたビジネスグループの売上が「アイコン」の拡大とそれに伴う相乗効果によりセキュリティ関連の販売が拡大したことで前年同期に比べ971百万円、モバイルショップビジネスグループの売上がスマートフォン関連の販売が好調に推移したことで前年同期に比べ600百万円増加したことにより、前年同期比639百万円増加し25,576百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

利益面では「アイコン」等が順調に拡大したことで利益率が改善したことも加わって売上総利益が前年同期比380百万円増加（前年同期比5.4%増）しました。一方で販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人件費の増加等があったものの事務所再編等による地代家賃の減少やのれんの償却費の減少により前年同期比165百万円の増加（前年同期比2.5%増）にとどまったことで、営業利益は630百万円（同51.7%増）、また、持分法による投資損益の改善等により経常利益は714百万円（同67.8%増）となりました。

なお、四半期純利益は税金費用の増加等により366百万円（同28.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

売上高は10,990百万円（前年同期比9.7%増）、セグメント利益は251百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

売上高は8,226百万円（前年同期比10.5%減）、セグメント利益は325百万円（前年同期比58.7%増）となりました。

<モバイルショップビジネスグループ>

売上高は6,103百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は102百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

<その他事業グループ>

売上高は255百万円（前年同期比16.3%増）、セグメント利益は22百万円（前年同期比211.1%増）となりました。

(2)財政状態

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,685百万円減少し14,539百万円となりました。

流動資産は9,405百万円となり、前連結会計年度末比1,949百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金が1,045百万円、受取手形及び売掛金が1,366百万円減少したためです。

固定資産は5,132百万円となり、前連結会計年度末比265百万円の増加となりました。これは主としてのれんの償却等により無形固定資産が139百万円減少したのに対して、有形固定資産が98百万円、保有有価証券の時価上昇に伴う投資有価証券の増加等により投資その他の資産が307百万円増加したためです。

流動負債は6,107百万円となり、前連結会計年度末比1,706百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金が1,339百万円、短期借入金が177百万円減少したためです。

固定負債は2,202百万円となり、前連結会計年度末比385百万円の減少となりました。これは主として償還期間が1年以内となったことにより流動負債に振替えられた社債が300百万円あったことに加え、長期借入金が147百万円減少したためです。

純資産は6,229百万円となり、前連結会計年度末比406百万円の増加となりました。これは主として配当により203百万円減少したのに対し、第3四半期純利益を366百万円計上したことに加え、保有有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が247百万円増加したためです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当社グループは、外部メーカー製品を中心に販売しており、新技術の開発等の研究開発活動は行っていません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,866,311	13,866,311	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	13,866,311	13,866,311	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	—	13,866,311	—	4,150,294	—	17,205

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 303,100	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 13,561,000	135,610	—
単元未満株式（注）	普通株式 2,211	—	1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	13,866,311	—	—
総株主の議決権	—	135,610	—

（注） 単元未満株式の株式数には、自己株式47株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社フォーバル	東京都渋谷区神宮前5丁目52番2号	303,100	—	303,100	2.18
計	—	303,100	—	303,100	2.18

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,196,048	3,150,167
受取手形及び売掛金	4,940,766	3,574,127
商品及び製品	511,313	533,923
仕掛品	37,410	78,814
原材料及び貯蔵品	9,043	24,310
その他	1,718,594	2,100,720
貸倒引当金	△58,247	△56,517
流動資産合計	11,354,930	9,405,546
固定資産		
有形固定資産	974,802	1,073,122
無形固定資産		
のれん	626,805	502,490
その他	204,528	189,112
無形固定資産合計	831,333	691,603
投資その他の資産		
投資有価証券	2,164,645	2,549,503
その他	1,302,082	1,199,604
貸倒引当金	△405,861	△381,175
投資その他の資産合計	3,060,866	3,367,932
固定資産合計	4,867,001	5,132,658
繰延資産	2,352	825
資産合計	16,224,284	14,539,029
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,330,417	2,990,839
短期借入金	567,051	389,902
未払金	1,285,457	1,074,890
未払法人税等	124,128	97,954
賞与引当金	337,319	218,396
役員賞与引当金	65,000	52,339
その他	1,103,800	1,282,779
流動負債合計	7,813,174	6,107,100
固定負債		
社債	300,000	—
長期借入金	436,023	288,222
退職給付引当金	1,572,888	1,638,842
その他	279,110	275,459
固定負債合計	2,588,021	2,202,524
負債合計	10,401,195	8,309,625

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	△2,144,398	△1,982,377
自己株式	△101,663	△101,663
株主資本合計	4,392,712	4,554,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	973,175	1,220,932
為替換算調整勘定	△1,883	△797
その他の包括利益累計額合計	971,292	1,220,134
新株予約権	855	4,190
少数株主持分	458,228	450,346
純資産合計	5,823,088	6,229,404
負債純資産合計	16,224,284	14,539,029

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	24,936,787	25,576,188
売上原価	17,888,453	18,147,524
売上総利益	7,048,333	7,428,664
販売費及び一般管理費	6,632,956	6,798,604
営業利益	415,376	630,059
営業外収益		
受取利息	3,158	3,249
受取配当金	24,450	26,612
持分法による投資利益	—	3,566
貸倒引当金戻入額	19,505	27,795
助成金収入	10,700	27,161
その他	20,929	34,735
営業外収益合計	78,744	123,120
営業外費用		
支払利息	24,445	17,572
持分法による投資損失	30,310	—
投資事業組合運用損	1,319	9,908
その他	12,263	11,352
営業外費用合計	68,338	38,834
経常利益	425,782	714,345
特別利益		
固定資産売却益	3,655	151
投資有価証券売却益	0	1,484
資産除去債務消滅益	—	3,109
その他	1,871	—
特別利益合計	5,527	4,745
特別損失		
固定資産除売却損	4,567	8,738
訴訟関連損失	5,714	60,000
その他	13,905	18,388
特別損失合計	24,187	87,127
税金等調整前四半期純利益	407,122	631,964
法人税、住民税及び事業税	89,613	179,782
法人税等調整額	33,996	32,972
法人税等合計	123,609	212,755
少数株主損益調整前四半期純利益	283,513	419,209
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,940	52,342
四半期純利益	285,453	366,867

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	283,513	419,209
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△215,260	248,049
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,133	1,085
その他の包括利益合計	△216,393	249,135
四半期包括利益	67,119	668,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,277	615,709
少数株主に係る四半期包括利益	△2,158	52,634

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(1) 連結の範囲の重要な変更

株式会社FRSファシリティーズは、重要性が増したため第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、連結子会社である株式会社新英は同じく連結子会社である株式会社フォーバルテレコムと合併したため、連結の範囲から除外しております。連結子会社である株式会社ジュリアーニ・セキュリティ&セーフティ・アジアは清算により連結の範囲から除外しております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社である株式会社ニーズフロンティアの株式を一部売却したことに伴い、同社を持分法適用関連会社から除外しております。

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	249,551千円	196,166千円
のれんの償却額	143,091千円	124,214千円

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	203,453	15.00	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	203,447	15.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,019,055	9,194,661	5,503,019	24,716,736	220,051	24,936,787
セグメント間の内部売上 高又は振替高	617,104	743,859	36,360	1,397,324	21,661	1,418,986
計	10,636,160	9,938,520	5,539,379	26,114,060	241,713	26,355,773
セグメント利益	206,485	205,219	113,711	525,415	7,272	532,687

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	525,415
「その他」の区分の利益	7,272
セグメント間取引消去	△16,004
のれん償却額	△110,314
棚卸資産調整額	9,008
四半期連結損益計算書の営業利益	415,376

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,990,106	8,226,693	6,103,396	25,320,196	255,992	25,576,188
セグメント間の内部売上 高又は振替高	500,506	687,184	26,860	1,214,551	14,849	1,229,400
計	11,490,613	8,913,877	6,130,256	26,534,747	270,841	26,805,589
セグメント利益	251,838	325,704	102,226	679,769	22,624	702,393

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	679,769
「その他」の区分の利益	22,624
セグメント間取引消去	3,477
のれん償却額	△75,811
棚卸資産調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	630,059

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	21円5銭	27円5銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	285,453	366,867
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	285,453	366,867
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,563	13,563
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は平成25年1月9日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行及び株主還元の一環として行うものです。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 300,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.21%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 150,000,000円(上限) |
| (4) 取得期間 | 平成25年1月10日～平成25年3月22日 |

上記取締役会決議に基づき平成25年1月31日までに取得した自己株式は以下のとおりです。

- | | |
|----------------|--------------|
| (1) 取得した株式の総数 | 202,600株 |
| (2) 株式の取得価額の総額 | 100,844,500円 |

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月12日

株式会社フォーバル

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員 公認会計士 加藤善孝 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 須永真樹 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバル及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月13日
【会社名】	株式会社フォーバル
【英訳名】	FORVAL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 將典
【最高財務責任者の役職氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長中島將典及び当社最高財務責任者加藤康二は、当社の第33期第3四半期（自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。